

R6年度自己評価表 集計結果 (職員向け)

公表日： 令和7年3月1日  
事業所名： ASTEP長岡京

※ % (割合) 表示

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	意見
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練スペースとの関係で適切である	50	50	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大勢の児童が一度に居てきた際に動線管理を工夫することで円滑な運営が可能な点が問題なし。</li> <li>・他の事業所と比べると十分広い。</li> <li>・利用定員が15人になると多いが、という印象です。あの広さからいくらかの余裕は感じます。</li> <li>・15人だとやや狭く感じます。この先、低学年の児童が高学年になると、室内運動療育活動はスペースに工夫が必要で、できることが限られてくる懸念があります。</li> <li>・子どもがのびのびと過ごすのであれば、もう少し広さはほしいとは思いますが、子どもが帰ってくる時間によっては、お静かルームが狭いです(広くしたり調整はしています)。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であるか	75	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は大丈夫だが、新しい事業所が開設して人員配置が変わるとうまく回るか計画的な対応が求められる。</li> <li>・迎えで2便目が4台稼働している時は、療育室に2人以上以上の配置が必要。時間、時間、活動内容、対応等で原し場があるため、工夫をしている。</li> <li>・事業人員は基本的に定数に達しているものの、個別対応が必要なお子さんのご利用が多い日はやや少ないと感じることがある。</li> <li>・休みが重なっている時など、時と場合によります。</li> </ul>
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	25	75	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手すりや段差などバリアフリー対応が現時点で利用者ニーズがないが、今後の状況に応じた対応が求められる。</li> <li>・2階の階段があるので、介助が求められる。</li> <li>・トイレの空間に手すりがあろうとよい、トイレにオムツ替えが必要なお子さんの動線が確保できるとよい。</li> <li>・スロープは設置されていない。</li> <li>・トイレや玄関にも手すりが付いていると良いと思えます。</li> </ul>
業務 改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参加しているか	88	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がちょっとより分かりやすい情報共有が求められる感じます。</li> </ul>
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	62	38	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートを実施していることは認識しているが、内容をそれほど深く理解していないため、理解を深めるところから始めたい。</li> </ul>
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	74	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPで掲載、保護者には直接LINE送付している。</li> </ul>
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	25	62	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートを実施していることは認識しているが、内容をそれほど深く理解していないため、理解を深めるところから始めたい。</li> </ul>
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	25	75	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残念ながら、非常勤(週2)の為、なかなか参加することが出来ずいます。</li> <li>・今日の研修をですが、毎回出席に努めます。</li> <li>・受講しているケースを取り下げる機会も必要です。また、受講については年1回必須と伺っています(しっかりと受講も実施している)が、発達障害、ダウン症、学習障害などについての知識を深める研修、アンダーアーマント、セントラルネスなど職員のメンタルヘルスに寄与する内容の研修も実施していただきたいです。</li> <li>・月に1度の頻度で実施。</li> </ul>
適切な 支援 の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	88	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援会議についても、全職員の中で実施したいところですが、なかなか十分な時間を抽出することができていないのが現状、それぞれの個人タスク計画を別冊にして各員が取り組むことで時間を少しも抽出していきたい。</li> </ul>
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50	50	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より詳しい方がいいかと思えます。</li> </ul>
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な協力ができていると思えます。</li> <li>・ミーティングで検討している。</li> </ul>
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	88	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定化という印象がよくないが、たとえば毎月、カレンダーを作るなどよい。また、同じ内容の活動を連続3日に実施するのも、修正を加えよりよい内容にできます。</li> <li>・プログラムの固定化のポジティブな面も見ていきたいと思えます。</li> <li>・結果的に同じで繰り返しているものの、児童の能力や特性を踏まえて検討されている結果だと思えます。</li> </ul>
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	25	75	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題というのをどう捉えたらいいのか、わかりかねます。</li> <li>・職員の適正配置、室内、外出等幅広く計画を立てている。</li> </ul>
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	88	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうあるべきかと思えますが、状況によってはなかなか難しい場合もあります。</li> <li>・可能な限り、準備の準備から打ち合わせを行い、インテグレーションは主体的に個別への切り替えができています。</li> <li>・保護者問題のもと実施している。</li> </ul>
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングで実施。</li> <li>・開始前週で、計画は業者が活動プレゼンを実施、フィードバックが求められる。</li> <li>・内容を全員で検討して修正を行う点については意見を共有することができている。若手の支援者も意見を言う雰囲気づくり、コミュニケーションが求められる。</li> </ul>
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	75	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習いに実施しています。</li> <li>・緊急でない内容は開始前のミーティングで共有している。</li> </ul>
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日報管理は毎日実施、評価点(ポジ・ネガ、今後の課題)について必ず整理をして共有している。</li> </ul>
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一生涯計画です。</li> <li>・モニタリング、調整表を使用して継続的に管理実施している。</li> </ul>
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	75	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5領域支援を基本として、偏りが無いような意識を持って活動が計画している。</li> <li>・グラフ化をして、視覚的に分かるように工夫されている。</li> </ul>	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	75	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関、学校とは積極的に関わっていると思いません。子どもと連携を行い、一貫した支援の実現を目指したい。</li> </ul>
	21	学校との情報共有（年次計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	75	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>これはなかなか難しいですね。学校という保護者との情報共有は必須ですが、児童が帰ることがあったので、適切には行っていない。</li> <li>学校によって癖がある。これについてはデイズでできる努力は整っている部分もあるが、具体的に学校側に働きかけていきたい。</li> </ul>
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	25	75	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートを実施していることは認識しているが、内容を深く理解していないため、業務改善につながるような認識を深めたい。</li> <li>主治医と連携体制をとるのにはなかなか難しいです。</li> <li>長期ケアでは●さんについての話し合い、●●さんの書類送達について連携する機会がありました。</li> <li>該当する児童はないが、5/5の協議に際して見学をしたより詳細内容の説明を受けている。</li> <li>今までに主治医等との会議をされている機会はありました。</li> </ul>
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	25	62	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>とても重要ですが、昨年度は施設で1回そのような機会がありました。</li> <li>児童発達支援事業所から情報を共有してもらっている。</li> <li>年に1回してくださっています</li> </ul>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	12	37	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>そういった機会がなかったため、わからない。</li> <li>長期ケアについてはまだありません</li> <li>長期ケアでは該当児童がまだいない。</li> </ul>
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25	37	37	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は受けていない。</li> <li>年に1回してくださっています</li> </ul>
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	12	87	<ul style="list-style-type: none"> <li>未実施</li> <li>障害のない子どもとの交流の機会は現在のところない。今後の必要性を感じた時に、アクションに移していきたい。</li> </ul>
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	0	50	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉協議会主催のイベントには参加(年2回)</li> </ul>
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	75	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の共通理解はできていない状況。全員が同じ認識を持つことを目指して情報共有のあり方を再検討し、認識の共有を図りたい。</li> </ul>
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	12	50	37	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎、モニタリング、個別療育のフィードバックで、LINEで疑問があれば返している。</li> </ul>	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	37	62	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時や説明があればその都度、説明している。</li> <li>見学や体験、契約時に行っている。</li> </ul>
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に、必要な助言と支援を行っているか	75	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来る限り、最大限の努力をしています。</li> <li>熱心してお答えしているが、適切はその後の結果を保護者が思うところ、お答えしたことにに対して保護者からの疑問、疑問があった時をすぐに対応している。</li> <li>答え難い内容は必ず一度持ち帰るよう指導を受けている。</li> </ul>
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	50	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の会は有難いと思います。以前動いていた放デイではありました。</li> <li>卒業生の保護者からお話を伺える保護者会を企画した。</li> </ul>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>冊子・マニュアルで示されている。社内アプリで容易に確認できるよう工夫されている。</li> </ul>
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	75	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ、LINE、Instagram、X</li> <li>主な発信はSNS、ほぼ毎日更新している。</li> </ul>
	35	個人情報に十分注意しているか	87	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報管理、電子データはPWをかけている。</li> <li>セキュリティソフト使用</li> </ul>
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	88	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>LINEを軸に、送迎の際に引継ぎをする内容や方法の指導を受けている。</li> </ul>
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を回っているか	0	38	62	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性を感じているため、具体化していきたい。</li> </ul>	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	38	62	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者には不十分かもしれない。</li> <li>事業所マニュアルの送付を行うとともに、事業所に掲示をしている。</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	50	50	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の防災訓練は必須で行っている。</li> </ul>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	88	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>先月研修を行いました。ロールプレイを交えた実践的な内容で行っていただきました。</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	75	25	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>冊子やマニュアルで整備されている。しっかりと読み込んでほしい。</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	25	75	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師の指示書は、わからない。</li> <li>指示書はいただいています。</li> <li>保護者からの共有によってアレルギー対応はしている。</li> </ul>
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>選別の打ち合わせで、問題を提起して共有できている。</li> </ul>	
44	自由意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>高学年、中学生は低学年の児童と活動を分けたり、(体育スペース、室内も狭くなる。スキルの習)タブレット等で自分たちで読んで課題をやる、制作をするなど自由活動が必要になってくると思います。どの事業所でもそうですが、職員の配置が課題です。各々が活動の全体像をイメージして具体的に動けるのが重要となってきます。児童が帰ることができる専用のタブレットを導入してほしい(使用するにあたってルール等マニュアル必要)です。</li> </ul>				